

番号	課名
H - 1	消防本部総務課

事務事業名	消防団消防機械庫新築事業			新規・継続・単年	継続						
				ソフト・ハード	ハード						
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VII-21-49	救急体制・消防力の充実								
	施策の課題(事務事業の実施目的)	消防団を中核とした地域防災力の充実強化									
	関連施策名(施策コード)	III-8-14	防災・減災のための環境整備								
事業内容(経緯)	老朽化が進んでいる機械庫を新築し、効率的な出動体制の確立および災害時の団員の待機・休息場所を確保します。また、災害拠点施設としての機能を十分に果たせるよう、建設地の厳選をします。										
行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)						
	①	消防機械庫の新築数	単年度整備数	棟	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画		
	②										
	③										
	④										
基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	消防機械庫の新築数					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計	説明・算式・引用	単年度整備数					
	6,365	27,557	内容	工事請負費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	地方債、一般財源			1.0	1.0	-	1.0	1.0
事業対象	消防団	今年度の成果	野津方面隊第2分団1部の機械庫は旧野津町救急派出所を再利用しており、築50年以上が経過していました。災害による被害は少ない立地であることから移転はせず新築工事を行いました。								
成果指標	指標名	整備後30年以上経過の機械庫数			単位	数値の推移(総合計画の期間内)					
	説明・算式・引用	整備後30年以上の老朽化率(全57棟)(30年以上経過の機械庫数÷全57棟)			%	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	
	指標設定の理由	消防団の活動拠点となる機械庫の老朽化の改善を図る				50.81	50.00	55.00	56.14	56.14	
評価	有効性		効率性		評価の理由						
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	管轄する地域内で災害時でも被害の影響が少ない用地を確保するとともに、新築したことによって、地域の住民とのつながりが強くなり、住民の安心にもつながると考えます						
事業の問題・課題	災害時の拠点施設としての機能を十分に果たせるよう、建設地の選択が重要になります。		目標達成に向け、次年度以降の取組		地元自治会や消防団と協議を行い、危険順位の高い機械庫を優先的に建て替えるように計画性を持って実施します。						
課長評価	進捗状況		施策への貢献度		今後の方針						
	順調		貢献度 大		向上		施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。				

番号	課名
H - 2	消防本部警防課

事務事業名	令和5年度 指揮車購入事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画 (施策評価) との関連	施策名 (施策コード)	Ⅶ-21-49	救急体制・消防力の充実
	施策の課題 (事務事業の実施目的)	災害活動においては年々多様化し、各隊の活動も専門性が必要となっています。現場においては指揮命令系統の益々の充実が求められており、最も重要な指揮隊の業務をサポートするため、車両のコンパクト化・資機材の充実を図ることができます。	
	関連施策名 (施策コード)	Ⅶ-21-49	救急体制・消防力の充実

事業内容 (経緯)	老朽化した車両の更新を行いました。これまでの現場活動での不足資機材を補い、偽装による使いやすさを重点に置きスムーズな情報収集や隊員を危険に晒さないよう的確な指示ができる車両、資機材を購入しました。			
--------------	--	--	--	--

行動指標 (実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
①	指揮車購入	更新目安15年	台	-	-	-	1	-
②								
③								
④								

基本項目 コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	-					
	前年度 (R4)	当該年度 (R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	-				
	-	8,880	内容	指揮車導入	コスト指標 (単位当たりの費用)	数値の推移	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
			財源	一般財源			-	-	-	-	-

事業対象	市民	今年度の成果	使用方法を熟知し、最大の効果を発揮できるよう訓練を行いました。
------	----	--------	---------------------------------

成果指標	指標名	-	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	-		R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
	指標設定の理由	-		-	-	-	-	-

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	狭険地区の災害出場に際し、早期の指揮本部対応が期待できるようになりました。

事業の問題・課題	現場活動の複雑、多様化に備え必要資機材の更新が必要となってきます。	目標達成に向け、次年度以降の取組	次回更新の目安が15年であるため、事故や故障による使用不能期間を無くすことです。
----------	-----------------------------------	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 大	完了 今年度、事務事業が完了しました。